

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表日：令和 5年 2月1日

チェック項目			はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	スペースが広々としているため楽しく指導、訓練が出来るよう区切ってあり、部屋の使い方が明確になっている為環境的にはいいと思います。	
	2	職員の配置数は適切である	7	0	法令の定めた基準を満たしており保育士、児童指導員、理学療法士、作業療法士が在籍し全職員が有資格者で構成されております。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	7	事業所は2Fにあるが室内、トイレに段差がない為ほとんどがバリアフリー空間となっております。	事業所が2Fにあることが課題ではあるが見学などの際、説明をし昇降時には利用者だけで昇降しないよう職員が手を繋いだり、壁面などを用いて利用者が楽しく昇降出来るよう工夫し怪我のないよう努めてまいります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7	0	シフト制であるため、参加できない職員もいますが、朝礼を毎朝行うようにし朝礼日誌などを使い全職員が、周知できるよう努めております。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	保護者様からの意見を把握しその都度、職員で話し合い周知し対応、支援を行っております。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	COMPASS発達支援センター公式Webサイトにて公開しております。	今後も公式webサイトで公開してまいります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	7	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	新型コロナウイルス予防のため現在、外部研修は控えておりますが前年度に引き続き本社で企画された研修や動画を朝礼などの時間を使い、資質の向上に努めております。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	契約前や定期的に保護者様と課題を共有し送迎時などに細めに様子などをお伝えし計画作成などを行っております。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	標準化されたアセスメントツールを使用しております。また、モニタリング時には、統一されたチェックシートで状況を把握し保護者様の意向の確認を行っております。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	それぞれの専門職の立場から意見を出し合い、支援の方向性を決め、活動内容を立案しております。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	利用者の興味、関心を基に利用者個々の発達課題を考慮し活動を組み支援しております。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	0	休日や長期休暇など利用時間が長い日はイベントを設けたり、集団活動での他児との関わりを増やすなど児童の状況に応じた課題を設定することで、よりよい経験が積めるように支援しております。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	個別活動、集団活動を一人ひとりの特性、発達段階、保護者様からのニーズに応じて計画的に組み込んでおります。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	毎朝、朝礼を行い児童の様子や状況を伝達し、支援内容の確認などを行っております。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	勤務がシフト制のため支援終了後の全職員での打ち合わせは行っていないませんが伝達ボードを活用し共通理解を図っております。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	日々の療育内容や児童の様子は記録しております。その記録をもとに支援の改善を図ったり、職員間で情報交換を行っております。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0	6か月に1回のペースでモニタリングが行われており、送迎時にも保護者様と連携を図りながら共通理解し計画の見直しを行っております。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7	0	定期的に保護者様との面談を実施し、児童の発達状況や課題、保護者様のご意向を検討し、ガイドラインから必要な項目を選定し、支援内容を設定、提示しております。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	児童発達支援管理者だけでなくひとりの意見に偏らないよう、対象児童の状況を理解し説明ができる職員が一緒に参加できるよう努めております。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7	0	保護者様から学校行事や時間変更を教えていただき、学校とも連携を図り、下校時間の確認等、連絡調整をおこなっております。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	7	現在医療的ケアが必要な児童は在籍しておりません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	0	相談支援事業所や保護者様との情報共有を行いながら支援内容の考案や相互理解に努めております。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	7	該当する児童がいないため、今年度はおこなっておりません。	今後、該当する児童が通所する場合には適切に対応するべく準備をしてまいります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	7	新型コロナの感染予防の観点から外部での研修等への参加は控えさせていただいております。	コロナ収束後には、専門機関でおこなわれる研修にも積極的に参加し、助言を受け、連携を図るよう努めてまいります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	7	新型コロナの感染予防の観点から外部での研修等への参加は控えさせていただいております。	コロナ収束後には、保護者様のご意見を伺いながら放課後育成クラブや児童館との交流の機会を設けるなど検討してまいります。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	0	7	新型コロナの感染予防の観点から外部での研修等への参加は控えさせていただいております。	コロナ収束後には、子ども部会などにも積極的に参加してまいります。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	児童の様子や療育内容は、日々の連絡帳に記載しております。また送迎時にはできるだけその日の児童の様子をお伝えするよう心がけ保護者様との情報交換をおこない、児童についての共通理解を深めております。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	0	保護者様から子育てや児童についてのお悩みやご相談を受けた際には、丁寧にお話を伺いご家庭でも行える療育やアドバイス等を行っております。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	ご契約時に丁寧な読み合わせを行い、解りやすく説明を行い不明な点があれば、さらにわかりやすい言葉を使い納得されるまでご説明するよう心がけております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	保護者様から相談があった場合は職員で話し合い助言や支援を行っております	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	7	今年度もコロナ感染予防の観点から交流は自粛させていただいております。	コロナ収束後には、保護者様同士の交流の機会を設けるなど検討してまいります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	保護者様からの苦情はいつでも対応できる態勢を整え、保護者様からのご相談や申し入れに対しては迅速に対応しております。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	公式Webサイトやブログ、SNSで情報を発信し、季節ごとに（お便り）を発行しております。	
	35	個人情報に十分注意している	7	0	個人情報に関する書類は鍵付き書庫で保管し、取り扱いには十分配慮し廃棄の際にはシュレッダーにかけるなど細心の注意を払っております。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	児童の特性に合わせ、視覚的に分かりやすい伝達方法を提供しています。また保護者様には専門用語を避け、分かりやすい説名を心がけております。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	7	現在、地域住民を招待するような取り組みは行えておりません。	コロナ収束後には防災などの視点からも、地域との共助の連携が図れるように話し合いを検討してまいります。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	0	各種マニュアルを策定し、揭示し事業所内研修で職員共に共通理解を図っております。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	定期的に様々な災害を想定した避難訓練等を実施し児童の特性に応じた参加の方法を考慮しております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	年間計画に基づき職員研修を実施し、虐待防止への理解と意識向上に努めております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	0	契約書類に身体拘束についての記載があり、生命、身体保護のためにのみ、やむを得ず行う場合は保護者様の同意を得るようにしております。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0	現在、対象となる利用児童がいませんが、アレルギーの有無に関してはアセスメントの段階でお聞きし、おやつ成分、種類等配慮しております。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	事例ごとに全員で話し合いの機会を持ち、ヒヤリハット報告書を作成し、ファイル保管しております。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。